

マイ・ステージ

そうかわがまち



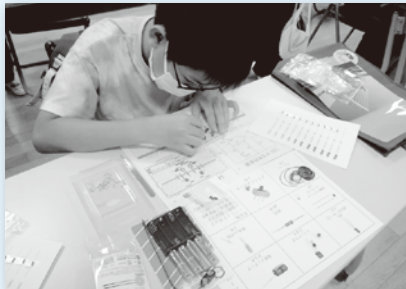
▲平成塾活動合同発表会（ホールの部）



▲平成塾活動合同発表会（展示の部）



▲そうか市民大学
「草加郷土学～街道と川を通しての人と物の交流及び草加宿の文化～」



▲子ども大学そうか
「ブレッドボードを使った電子工作」



▲生涯学習体験講座
プリザーブドフラワーのフレームスタンド

生涯学習情報紙「マイ・ステージ」も今号で第30号！

これを記念して編集委員さんにそれぞれの
生涯学習活動についてつづっていただきました。

これまでの生涯学習とは、自分自身の豊かな人生を送るためとの意義が大きかったように思われます。しかし、コロナウイルスという魔物の出現により、肩を寄せあって語ることも、声高らかに歌うことも、全て許されず、生活様式は一変しました。もちろん、生涯学習活動も自粛せざるを得ませんでした。このような経験をして、初めて生涯学習の要は、人とのコミュニケーションなのだと知らされました。

私達は、これからのwithコロナ社会の中で、新しい生活様式に合わせた生涯学習の仕方を考えていかなければならないのだと実感しました。人との密を避けながらも、心のふれあいを持たなければなりません。

皆で模索しながら活動方法を考えることも、コミュニケーションの一つかもしれません。コロナに負けず、楽しみましょう！

伊藤紫扇

無職の年金生活、気が付けば挨拶はしても話をする知り合いが全くない。特技・趣味はなく、グループ活動に飛び込む勇気もない！

さあどうする？ そのような折、市立中央図書館のボランティア募集を知り、その活動で唯一できそうな「本と直接関わる」活動に参加しました。そこから10年、利用者と直接ふれあえる楽しい緊張、仲間との相互学習を続けて現役時代とは違う多彩な人達に出会いました。

さらに活動を通してPC活用を身に付け、マイ図書館感覚で本を多読、獨協大オープンカレッジにも参加、本と実践で歴史遺産の旅を楽しんでいます。

これらの学習・体験を活かし、町会・社協の手伝いをするにつながり、日常的に会話ができる人達と地域活動を楽しんでいます。

成川登喜男

生涯学習市民推進会議委員になったことをきっかけに、学生時代の部活動からずっと趣味として続けてきたことが、実は「生涯学習」なのだと知りました。今も昔と変わらない気持ちで吹奏楽やフルートを続けておりますが、そこから派生した様々な出会いや経験が、今の自分を形成していると感じます。「まなび」というのは学校教育だけではなく普段の生活の中にたくさんあり、それは驚くほど多種多様です。マイ・ステージの編集に関わり、自分では選ばない多くの未体験ゾーンに足を踏み入れ、年代の違う方とも知り合い、知らなかったことをまた一つ知るということを繰り返し、その一つ一つが自分を成長させているのかもしれない。これからも新たな出会いや交流、未知の体験に心躍らせ、生涯学んでいきたいと思ひます。私にとっては我が家のような公民館に、どうかあなたも生きがいをみつけに来てください。

平塚史子

今号の内容

- P. 2 生涯学習関連事業のご紹介
- P. 3 歴史民俗資料館の企画展に注目！
「マイ・ステージ」ってなあに？/中央図書館からのお知らせ
- P. 4 公民館・文化センター・歴史民俗資料館で今年の冬を楽しもう♪